



八千浦区 地域協議会だより

No.
53

発行:八千浦区地域協議会

八千浦区の海岸線を中心とした豊かな自然と歴史・文化、
地域の絆をいかして、世代や地域を超えて交流し、
暮らす人や訪れる人の笑顔があふれる明るいまちを目指します。
(令和5年10月18日作成「地域活性化の方向性」キャッチフレーズ)

■ 地域協議会で話し合っていることを紹介します

★令和6年度第6回 (3月)

【協議事項】

- 副会長の選出について
- ・副会長として、笠原武委員を選出。

【報告事項】

- 地域独自の予算事業の一覧について
- ・令和7年度の八千浦区の事業を確認。
- ①八千浦地区海まつり (海まつり実行委員会)
- ②やちほ文化展・はまぐみ市(八千浦地区明るい)
- ③ニュースポーツDAY 町づくり協議会)

【自主的な審議】

- 今後の進め方について
- ・保倉川放水路の件は国や県の動きがあってこそ。この地域協議会にも情報が入り次第、応じる形で協議を深めることとする。
- ・海岸線視察に向け、2つのグループに分かれて視察先のアイディアを出した。



★令和7年度第1回 (5月)

【自主的な審議】

- 海岸線視察について
- ・視察先の確認。ゴミが落ちていて気になる場所の他、整備されゴミが少ないと感じる場所も視察する。
- ・5月3日(土)に「やちほまつり 海岸清掃×体験活動」(主催:やちほまつり実行委員会)が行われた。実行委員(地域協議会:古岡委員、渡邊(裕)委員)より情報提供。
- ・子どもたちに気軽に海岸清掃に関わってもらいたいので、子ども中心の内容で実施したもの。「自分の故郷・地元には海があり、大切な海を汚さない」という思いを子どもの時から育てたいと思っている。
- ・ボランティア含め80名程の参加があった。今後、定期的に開催することで八千浦をPRし、多くの人々が八千浦を訪れるようにしていきたい。地域協議会の協力もお願いしたい。



➡海岸線視察の様子は次ページに続きます➡➡➡



■ 地域協議会委員で海岸線を視察しました（6月26日）

★八千浦区の海岸線の現状は？

視察に参加した委員のコメントを紹介します



【様々な設置物とゴミの状況】

- ・ 誰が建てたか不明だが、赤い鳥居を確認。看板は古くなると効果が薄れる感じがする。
- ・ 投棄ゴミの他に、海岸への漂着ゴミも多く、風により土手の草木に集まる。
- ・ クリーン作戦が実施された後ということもあり、思ったよりもゴミは少なかった。
- ・ 「はまぐみの郷」看板はあるが、肝心のはまぐみが見当たらない。地域の資源として育てたい。



【夷浜・視察協力：大島町内会長】

- ・ 海岸から一步入った人目に付かない藪は不法投棄されやすい。キャンプやBBQのゴミも目にする。
- ・ 夷浜町内会は年3回、約40人の参加でクリーン作戦を実施。その他、明るい町づくり協議会でも実施。
- ・ インターネット上で登録している「釣りクラブ」が清掃に協力。SNSを通じ長野県からの参加もある。



【西ヶ窪浜・視察協力：平野町内会長】

- ・ 地域の財産は「白砂青松」、美しい景観に遊歩道を整備したり、高い土地であるため避難場所にも利用。
- ・ 保安林の草刈りは5～10月の年6回実施、海岸清掃は4～10月の年7回実施。不法投棄は減っている。
- ・ 町内会がきれいな海岸線を守るために頑張っている。何とかこういう活動を、利用者(地域外)に伝える方法はないものか。ゴミ拾いも大事だが、ゴミを捨てさせない工夫、対策を考える必要を感じた。
- ・ 人の暮らしと密着している場所（公園や避難場所）であるため、町内会で整備しているが、県内外からたくさんの人が訪れるため、SNS等で外部にも協力を依頼することが、逆に八千浦のPRになる発想もある。



◆渋柿浜松露（しょうろ）の会◆
約30年前に松林の手入れの為に発足。
3年前解散。活動を引き継いでいる。

★大潟区・渋柿浜舟屋台の会



【渋柿浜舟屋台の会・視察協力：広瀬会長、会員2名・佐野町内会長】

- ・生まれ育ったこの地に、次世代の子ども達が帰ってきたくなる「思い出の地」を提供することが、活動の原動力。大人が大切な場所であることを示すことで、次の世代に大切な場所として引き継がれる。
- ・何も手入れをしなければ松林は荒れ果て、獣道になる。不法投棄も増える。
- ・人、物、金の苦勞が伝わってきたし、共感する。これまでの活動に敬意を表したい。

★東北電力(株)上越火力発電所



【地域貢献の活動について：阿部副所長からお話】

- ・環境保全活動：東北電力・JERA・INPEXの3社合同で「臨港道路美化活動」を7、10月に実施。約80名参加。八千浦区明るい町づくり協議会の要請で「上越市海岸線環境美化促進協議会」にも参加。
- ・地域行事への参加：12町内の春・秋祭に奉献酒。海まつり、やちほ文化展への参加など。
- ・世界最高レベルの発電所が八千浦に立地していることが分かった。発電効率に驚いた。

地域協議会委員の紹介

地域協議会は、地域に暮らす住民の皆さんが委員となって、地域の課題解決や活性化に向けた議論・検討や地域内の連携を促す役割を担う協議会で、上越市内全28の地域自治区ごとに設置しています。八千浦区の定員は12名です。地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会長 大島 進（西ヶ窪浜）
伊倉 正次（遊光寺浜）
笠原 幸博（下荒浜）
木南 伸一（黒井）
佐藤 巳次（黒井）
竹田 充子（夷浜）

副会長 笠原 武（下荒浜）
平野 和夫（西ヶ窪浜）
古岡 和人（下荒浜）
柳澤 文雄（上荒浜）
渡邊 修一（夷浜）
渡邊 裕子（西ヶ窪浜）

「地域独自の予算事業」を活用する 取組を募集しています

「地域独自の予算事業」は市の補助制度(※)で、「もっとこうして地域を良くしたい!」という思いで地域で行われる取組を応援するものです。令和8年4月以降に実施する取組について募集しています。まずは北部まちづくりセンターへご連絡ください。 ※地域の団体等からの提案を市が実施する場合もあります

★補助対象となる取組

- ①地域資源を活用し、新たな収入源や雇用等につながる取組
例：特産品開発、販売促進、来訪者増につながるもの など
- ②地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組
例：生活支援、郷土愛の育成、人材育成 など



▲中学生も地域の一員として活躍する
R7年は第16回となる「海まつり」

★提案者・提案期限・補助率の上限

提案者	取組提案の区分	提案 期限	補助率 の上限
地域の団体 〔 2人以上で 市の区域内で活動 する法人・団体 〕	「地域独自の予算事業」を令和8年度初めて活用する取組	令和7年 8月末	7割
	「地域独自の予算事業」を令和5-7年度に新規で活用した取組	令和7年 9月末	
	「地域活動支援事業」を令和元年-4年度の間に活用した取組		9割

様式などはこちらから。

北部まちづくりセンターでは取組内容や申請資料について一緒に考えます。

☆パソコンからアクセス

上越市ホームページ>組織で探す>地域政策課>「地域独自の予算事業」の概要

☆スマホで読み取り



地域協議会を傍聴してみませんか？

地域協議会の会議はどなたでも傍聴していただけます。どうぞ、お気軽にお越しください。

詳しくはこちらから。

☆パソコンからアクセス

上越市ホームページ>

組織で探す>

北部まちづくりセンター>

地域協議会の活動状況（八千浦区）

☆スマホで読み取り



▲地域協議会の活動状況
（八千浦区）

【八千浦区地域協議会】

会場：八千浦交流館 はまぐみ
1階 多目的室

時刻：午後6時30分～

【八千浦区地域協議会事務局】

上越市地域政策課

北部まちづくりセンター

所在地：上越市中央1丁目16番1号
（レインボーセンター2階）

電話：025-531-1337

FAX：025-531-1338

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp